

普天間第二小学校校庭に米軍ヘリの窓落下、児童けが

落下ヘリ窓、重さ7・7キロ 米軍、同型機の飛行中断
琉球新報 2017年12月13日 21:19



沖縄県宜野湾市の市立普天間第二小学校の運動場に落下した米海兵隊のCH53E大型輸送ヘリコプターの窓。周囲にはアクリル製とみられる割れた透明板が散らばっている＝13日（宜野湾市提供）

沖縄県宜野湾市の小学校運動場に米海兵隊普天間飛行場所属のCH53E大型輸送ヘリコプターの部品が飛行中に落下した事故で、県警は13日、落下物の重さは7・7キロと発表した。アクリル製とみられる割れた透明板が現場で散乱しており、防衛省沖縄防衛局は、操縦席左側の窓が枠ごと落ちたと明らかにした。

学校などによると、運動場には約60人の児童がおり、窓は約90センチ四方で一部が欠けた状態で透明板が残っていた。児童との間の距離は十数メートルとみられ、重大事故に巻き込まれる恐れがあった。米海兵隊は普天間所属の同型機の飛行を見合わせたが、県民の批判が高まるのは必至だ。

飛行再開前提と明示 山本防衛副大臣
琉球新報 2017年12月13日 20:48



窓枠を落下させたCH53E大型輸送ヘリコプターの安全確認が済めば飛行再開を認める考えを示す山本朋広防衛副大臣＝13日午後6時53分ごろ、防衛省

【東京】普天間第二小学校のグラウンドに普天間飛行場所属の米軍ヘリの窓が落下したことを巡り、山本朋広防衛副大臣は13日夕、米軍が普天間所属同型機の飛行を一時停止して安全点検していることに「再発防止策をきちんと徹底していただく。その後に飛行するなり、運用するなりという方向だ」などと述べ、飛行再開が前提との認識を示した。防衛省で記者団の取材に応じた。

同型機の安全が確認される前に飛行再開を認める発言となり、波紋を広げそうだ。

沖縄県が米軍機の事故が相次いでいることから全ての在沖米軍基地の航空機の飛行停止を求めていることに対しては「CH53Eの事案なので、それで他の飛行機も同じように扱うというのはどういうロジックなのか分からない」と要求を批判した。同時に「全ての機種 of 飛行停止を求める考えはない」と拒否した。

東村高江での同型機が不時着、炎上した後、防衛省は自衛官を派遣して安全確認したとして飛行再開を追認していた。その判断の妥当性を問われたが「ケースが違うので、それをもって間違いであると言い切れるとは難しいのではないかと」正当性を主張した。

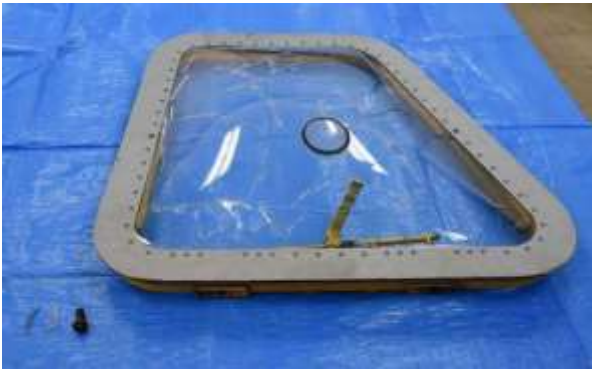
山本氏は同日正午ごろ、在日米軍のマルチネス司令官と防衛省で面談し、同系機の飛行自粛を求めている。

米軍、CH53Eと認める 小学校への窓枠落下で
琉球新報 2017年12月13日 19:16



CH53ヘリから落下した窓枠＝13日午後1時ごろ、宜野湾警察署

米軍普天間飛行場に隣接する宜野湾市立普天間第二小学校に米海兵隊の大型ヘリコプターCH53Eの窓枠が落下した事故で、在沖米海兵隊は13日午後、「CH53Eから普天間第二小学校の運動場に窓が落下した」と正式に認める発表をした。



米海兵隊の大型ヘリコプターCH53Eから落下した窓枠
＝13日午後、宜野湾署

米海兵隊は「機体は落下からすぐに普天間飛行場に戻り、事故を報告した」と説明した。

米海兵隊は「事故を非常に深刻に受け止めており、現在原因を調べている。情報が分かり次第また報告する」とした。その上で「事故によって地域社会に不安を与えたことを謝罪する」とした。【琉球新報電子版】

ガラスの破片散らばる 窓枠落下の跡も 保護者ら「上から落ちてくるなんて」と戸惑い 米軍ヘリ窓枠落下事故
琉球新報 2017年12月13日 18:49



普天間第二小学校のグラウンドに落下した米軍機の窓枠と現場を調べる職員ら＝13日、宜野湾市の普天間第二小学校グラウンド（宜野湾市提供）

宜野湾市立普天間第二小学校のグラウンドに窓枠が落下した事故で、同小学校に通う児童らの話から当時の状況が明らかになった。グラウンドに落ちた窓枠が現場に残っている間に撮影された宜野湾市提供の写真をみると、窓枠のガラスが割れ、運動場に飛び散っている様子が確認できる。

児童の一人によると、落下当時、グラウンドで大縄飛びや鉄棒をしていた児童もいたという。当時グラウンドの上空にはヘリコプター3機が飛んでおり、何か落ちる音に児童らは気付いたという。その後、教諭が児童に避難を呼び掛けたため、児童はグラウンドから校舎に移動した。

窓枠が落下した際、砂ぼこりが舞い、その際に児童の一人が痛みを訴えていたという。

12日午後5時ごろ、同校の教諭に案内され、グラウン

ドを確認した記者によると、窓枠が落下したのはグラウンドの中央より校門に近いところだった。当時付近に散らばっていたとみられるガラスの破片などは片付けられていたが、溝のようなわずかなくぼみが残っていた。

現場を視察した佐喜真淳宜野湾市長は報道陣に対し、「非常に憤りというか、宜野湾市民、特に子どもたちにこういうことが起こったことに対して本当に悔しい。心の中から怒りを覚える」と憤った。

娘と息子を普天間第二小に通わせる女性（37）は「上から落ちてくるなんて、どこを見て歩いていたらいいのか。こんなに短期間で事故が起き、子どもにも何と言ったらいいのか分からない」と言葉を詰まらせ、涙を流した。

娘2人を迎えに来た女性（39）は「危険な場所に学校があるのではない。学校がある場所に危険な基地を造ったのだ。ここで先祖から暮らし、ここ以外に土地はないのに」と語気を強めた。【琉球新報電子版】

米軍、全機種の飛行停止明言せず 県抗議に
琉球新報 2017年12月13日 16:59



米海兵隊太平洋基地司令官のロック准将（右から2番目）に、CH53Eからの部品落下事故について抗議文を手渡す富川盛武副知事（左）＝13日、県庁

県の富川盛武副知事は13日午後4時、在沖米海兵隊ナンバー2の米海兵隊太平洋基地司令官のポール・J・ロック准将と、ジョエル・エレンライク在沖米総領事を県庁に呼び、13日午前、普天間第二小学校にCH53米軍ヘリの窓枠が落下した事故に抗議した。

県は事故原因の究明と安全確認がされるまで県内の全米軍機の飛行を停止するよう求めたが、ロック准将から明確な回答はなかった。

ロック准将は、窓枠落下時に飛行していたすべてのCH53ヘリを普天間飛行場に帰還させ、現在は飛行していないと説明した。事故については「県民に不安を与えたことに心からおわびする」と謝罪した。【琉球新報電子版】

防衛省、飛行停止求めず けがに触れるも「被害与えかねない」 CH53窓枠落下で

琉球新報 2017年12月13日 16:14



普天間第二小学校のグラウンドに米軍機から落下物があったことについて説明する山本朋広防衛副大臣（中央）＝13日午後0時半ごろ、防衛省

【東京】沖縄県の普天間第二小学校のグラウンドに普天間飛行場所属のCH53Eヘリコプターの窓枠が落下したことを受け、山本朋広防衛副大臣は13日、在日米軍のマルティネス司令官と防衛省で面談し、同系機の飛行自粛を求めた。

児童1人がけがをしているが、山本氏は確認中として「多大な被害を与えかねない」と述べた。飛行自粛は求めなかった。

マルティネス司令官は「米軍の落下物であるということとは間違いない」と認めた。ただ、飛行自粛については詳細を確認して、日本側に報告するとした。

山本氏が会談後、記者団の取材に答えた。【琉球新報電子版】

県が全機の飛行停止を要求 副知事「生存権、学習権脅かされている」 米軍ヘリ窓枠落下事故

琉球新報 2017年12月13日 16:12



沖縄防衛局の中嶋浩一郎局長（右）と外務省沖縄事務所の川田司沖繩担当大使（中央）に抗議文を手渡す富川盛武副知事＝13日午後3時過ぎ、県庁

宜野湾市の普天間第二小学校に米軍ヘリから窓枠が落下し、男児一人がけがを負った事故で、富川盛武副知事は1

3日午後3時すぎ、県庁に外務省沖縄事務所の川田司沖繩担当大使、中嶋浩一郎沖繩防衛局長を呼び、「従来とは次元の違う問題だ。生存権、学習権が脅かされている」と強い憤りを示し抗議した。

県は県内の米軍基地にある全ての航空機の緊急点検の実施と点検期間中の全機の飛行停止などを求めた。県は、午後4時には米軍幹部を県に呼び抗議する。【琉球新報電子版】

「とんでもない」 翁長知事が現場視察 普天間第二小学校への窓枠落下事故で

琉球新報 2017年12月13日 15:51



普天間第二小学校の視察後、写真を手に現場の様子を語る翁長雄志知事＝13日午後0時28分、宜野湾市の普天間第二小学校前

米海兵隊普天間飛行場所属の大型ヘリコプターCH53Eの窓枠が落下した事故で、翁長雄志沖縄県知事は13日午後0時前、現場の沖縄県宜野湾市にある普天間第二小学校を訪れ、窓枠が落ちたグラウンドなどを視察した。翁長知事は「一番守ってあげなければならないのは子どもたちだ。子どもたちの生命や財産が脅かされている。とんでもないということで現場に来た」などと述べ、相次ぐ米軍機による事故に怒りをにじませた。

翁長知事は吉田勝広政策調整監とともに、13日午前11時46分頃、普天間第二小学校に到着した。グラウンドに移動し、窓枠が落下した現場を約30分、確認し、午後0時20分ごろ学校を離れた。落下した窓枠は宜野湾警察署が回収し、現場には残っていなかった。

翁長知事は現場の様子について「窓枠の形が（グラウンドの土の上に）くっきりと残っていた」とし、落下の衝撃の大きさに触れた。

小学校で落下事故が発生したことを受けて、県の平敷昭人教育長は13日午後、「大惨事につながりかねない重大事態だ。学校現場において、児童生徒の安全を脅かすような

ことは断じてあってはならないことであり、非常に強い憤りを感じている」とのコメントを発表した。

沖縄県教育委員会などによると、けがをした児童は窓枠の落下で飛んできた小石が左手の肘に当たったという。県警によると、児童に外傷はないが、痛みを訴えているという。

宜野湾署によると、窓枠は重さ7・7キロで枠部分は金属製で透明な部分はアクリル製という。県警によると、グラウンドで体育をしていた児童らから約10メートルの位置だったという。

窓枠が落下した当該機は米軍普天間飛行場に戻っており、窓枠が落下したとみられる部分は白い布のようなもので覆われていた。

現場の普天間第二小学校は13日午後、事故を受けて臨時休校となり、保護者が児童らを迎えようと集まり始めている。

長男が普天間第二小学校、次男が7日、米軍機の部品が落下した宜野湾市野嵩の緑ヶ丘保育園に通っているという母親は「信じられない。安全に平和に暮らしたいだけなのに。憤りや怒りを感じる」と話した。当時教室にいた長男によると、警報が鳴って先生から「教室外にでないように」と指示されたという。怖くて泣いている子もいたという。【琉球新報電子版】

【号外】CH53Eの窓落下 普天間第二小 風圧で児童一人がけが

琉球新報 2017年12月13日 12:00



クリックで拡大 (PDF ファイル 3.29MB)

宜野湾市の普天間第二小学校に13日午前10時すぎ、

米軍のCH53E大型輸送ヘリコプターの窓が落下した。

県基地対策課が小学校に確認したところ4年生の男児1人が風圧ですり傷を負ったという。

落下物との直接の因果関係は現時点で不明。知事も現場に向かっている。防衛省によると米軍も落下を認めている。

CH53Eの窓落下 普天間第二小 風圧で児童一人がけが

琉球新報 2017年12月13日 11:49



宜野湾市の市街地上空を飛行する米軍の大型輸送ヘリコプターCH53E＝12月8日午後3時半ごろ

宜野湾市の普天間第二小学校に13日午前10時すぎ、米軍のCH53E大型輸送ヘリコプターの窓が落下した。

県基地対策課が小学校に確認したところ4年生の男児1人が風圧ですり傷を負ったという。

落下物との直接の因果関係は現時点で不明。知事も現場に向かっている。防衛省によると米軍も落下を認めている。

【琉球新報電子版】



窓のようなものが落下した普天間第二小学校のグラウンド＝13日午前11時20分、宜野湾市



宜野湾市立普天間第二小学校の校門前で警戒する警察官＝13日午前、宜野湾市



普天間第二小学校の位置図

落下ヘリ窓、重さ7・7キロ 米軍、同型機の飛行中断

沖縄タイムス 2017年12月13日 21:19

沖縄県宜野湾市の小学校運動場に米海兵隊普天間飛行場所属のCH53E大型輸送ヘリコプターの部品が飛行中に落下した事故で、県警は13日、落下物の重さは7・7キロと発表した。亚克力製とみられる割れた透明板が現場で散乱しており、防衛省沖縄防衛局は、操縦席左側の窓が枠ごと落ちたと明らかにした。



沖縄県宜野湾市の市立普天間第二小学校の運動場に落下した米海兵隊のCH53E大型輸送ヘリコプターの窓。周囲には亚克力製とみられる割れた透明板が散らばっている＝13日（宜野湾市提供）

学校などによると、運動場には約60人の児童がおり、窓は約90センチ四方で一部が欠けた状態で透明板が残っていた。児童との間の距離は十数メートルとみられ、重大事故に巻き込まれる恐れがあった。米海兵隊は普天間所属の同型機の飛行を見合わせたが、県民の批判が高まるのは必至だ。（共同通信）

小学校にヘリ窓枠落下：米海兵隊司令官が謝罪 全機種飛行停止は回答避ける

沖縄タイムス 2017年12月13日 17:06

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）所属のCH53E大型輸送ヘリが宜野湾市の普天間第二小学校に窓枠を落下させた問題で、ポール・ロック米海兵隊太平洋基地司令官

は13日、県庁で富川盛武副知事に謝罪した。「県民に不安を与えたことに、全海兵隊を代表しておわびする」と述べた。

富川氏は、事故は「憲法で保障されている生存権と学習権を脅かすものだ」と強く抗議。在沖米軍の全航空機の緊急点検とその間の米軍機の飛行中止を要求した。

これに対し、ロック氏は県が求めた全機種点検と飛行停止に関しては回答を避け、事故発生後、運用していた同型機全機を普天間飛行場へ帰還させ「現時点で同型機は飛行していない」と述べるにとどめた。「沖縄の人々の安全は最も重要で、二度と起きないように調査している」とも述べた。

謝花喜一郎知事公室長は、オスプレイが名護市安部に墜落して丸1年の日に起きた事故であることに言及し「県民は強い怒りを持っている」と指摘。その上で「今までのように点検しているというだけでは県民は信頼しない」と述べ、重ねて全機種点検を求めた。

【写真特集】米軍ヘリ部品落下 その時、校庭に児童50人 一歩間違えれば...

沖縄タイムス 2017年12月13日 15:06

13日午前、沖縄県宜野湾市の普天間第二小学校のグラウンドに米軍普天間飛行場所属のCH53E大型輸送ヘリの窓が落下した。市教委から説明を受けた市議によると、事故当時、校庭では2年生と4年生の合わせて約50人の児童が体育の授業中だった。



普天間第二小学校のグラウンドに横たわる米軍機の窓枠のような物体＝13日午前10時54分



普天間第二小学校のグラウンドに横たわる米軍ヘリからの落下物＝13日午前10時54分、宜野湾市新城



窓を落下させたとみられるCH53E大型輸送ヘリ。窓のない部分をシートで覆う作業員＝13日午前11時52分、宜野湾市・米軍普天間飛行場（田嶋正雄撮影）



宜野湾署が回収した窓。周りは金属のようなもので、透明な部分はアクリルとみられる。黄色いレバーが付いている所から時計回りに約90センチ、約85センチ、約65センチ、約93センチ。その他、バネやピンとみられるものも回収した（写真左端）



報道陣の質問に答える翁長雄志知事＝13日、宜野湾市・普天間第二小学校



学校関係者に頭を下げる沖縄防衛局の伊藤晋哉企画部長ら＝13日午前11時ごろ、宜野湾市・普天間第二小学校



普天間第二小の地図



沖縄県宜野湾市の市立普天間第二小学校の運動場に、米軍ヘリから落下する窓のようなもの（円内）＝13日（TBSテレビ／琉球放送の映像より）



窓を落下させたとみられるCH53E大型輸送ヘリ。窓のない部分をシートで覆う作業員＝13日午前11時52分、宜野湾市・米軍普天間飛行場



普天間第二小学校のグラウンドに横たわる米軍機の窓枠のような物体＝13日午前10時54分



普天間第二小学校のグラウンドに横たわる米軍ヘリからの落下物＝13日午前10時54分、宜野湾市新城

在沖米海兵隊は13日、ヘリの窓を落下させたことを認める声明を発表した。同ヘリは午前10時9分に窓を校庭に落下させ、ただちに普天間に戻ったとしている。声明で「地域社会に不安を与えたことにおわび申し上げます」と謝罪した。同小学校は普天間飛行場に隣接している。

小学校に米軍ヘリの窓落下、沖縄 生徒1人軽傷、普天間

に隣接

沖縄タイムス 2017年12月13日 14:01

13日午前10時15分ごろ、沖縄県宜野湾市の市立普天間第二小学校の運動場に、上空から約1メートル四方の金属製の窓枠が落下した。米軍は、小学校に隣接する米海兵隊普天間飛行場所属のCH53E大型輸送ヘリコプターの一部だと明らかにした。県などによると、運動場では当時、体育の授業が行われており、児童ら約50人がいた。4年生の男児1人の左手に小石が当たり、軽いけがを負ったという。



米軍ヘリの一部が落下し、報道陣が集まる沖縄県宜野湾市立普天間第二小学校前＝13日午前



沖縄県宜野湾市の市立普天間第二小学校前で、落下した米軍ヘリの窓枠の写真を見せる翁長雄志知事＝13日午後



米軍普天間飛行場（上）と周辺の住宅地＝7月24日、沖縄県宜野湾市

13日は、普天間飛行場所属の輸送機オスプレイが名護市沿岸部で不時着、大破した事故から1年。7日にも同小の約1キロ東の「緑ヶ丘保育園」に米軍ヘリの部品と同一のものが落下するトラブルが起きていた。(共同通信)

防衛省、飛行停止ではなく「自粛」を要請

沖縄タイムス 2017年12月13日 13:58

【東京】防衛省の山本朋広副大臣は13日、米軍機から窓枠とみられるものが普天間第二小学校の校庭に落下したことを受け、在日米軍のマルチネス司令官に安全が確認されるまでの間の、同型機の飛行自粛を求めた。落下させたのは普天間飛行場所属機という。省内で記者団に明らかにした。



米軍に飛行自粛を求めたことを明らかにした防衛省の山本朋広副大臣＝13日午後0時30分ごろ、防衛省

事実関係を確認した上で、飛行停止を求めることを検討するとしたが、事実上、米軍に判断を委ねる「自粛要請」には批判も出そうだ。

山本氏は「県民の皆さまに不安や危険を与え、多大な被害を与えかねないもので、あってはならないものだ」と強調。マルチネス司令官と省内で会談し、原因究明と再発防止を求めたことを明らかにした。

マルチネス氏は「米軍の落下物であるということは間違いない。詳細については確認して報告したい」と説明したという。

山本氏は同日、日英外務防衛閣僚会合のためイギリスに向かう小野寺五典防衛相から出発前に、米軍に飛行自粛や事実関係によっては飛行停止を求め、遺憾の意を強く米側に伝えるよう指示を受けたことを明らかにした。

小学校に米軍部品落下「児童生徒の安全を脅かし、強い憤り」 沖縄県教育長

沖縄タイムス 2017年12月13日 13:37

宜野湾市の普天間第二小学校グラウンドに普天間飛行場所属のCH53E大型輸送ヘリが窓を落下させた事故を受け、沖縄県の平敷昭人教育長は13日午後、「大惨事につながりかねない重大事態。児童生徒の安全を脅かすようなこ

とは断じてあってはならず、非常に強い憤りを感じている」とのコメントを発表した。



平敷昭人教育長（資料写真）

「児童50人が体育の授業中だった」 米軍ヘリの窓が落下した校庭 宜野湾市議に市教委が報告

沖縄タイムス 2月13日 13:37

13日午前、沖縄県宜野湾市の普天間第二小学校のグラウンドに米軍普天間所属のCH53E大型輸送ヘリの窓が落下した事故で、宜野湾市議20人以上が同日、同校を視察し、市教育委員会から事故概要の説明を受けた。市議によると、校庭中央付近に米軍ヘリから窓が落下した当時、校庭では2年生と4年生の合わせて約50人の児童が体育の授業中だった。このうち落下物の影響で4年生の児童が腕に小石が当たりけがをしたという。



宜野湾署が回収した窓。周りは金属のようなもので、透明な部分はアクリルとみられる。黄色いレバーが付いている所から時計回りに約90センチ、約85センチ、約65センチ、約93センチ。その他、バネやピンとみられるものも回収した（写真左端）

校庭中央部分に落下物の衝撃でできたひし形の跡がくっきり残っており、周囲にはガラスとみられる破片もあった。

小学校にヘリの窓落下、沖縄米海兵隊が認める 「地域に不安、おわび申し上げる」

沖縄タイムス 2017年12月13日 13:10

在沖縄米海兵隊は13日、宜野湾市の普天間第二小学校のグラウンドに米軍普天間飛行場所属のCH53E大型輸送ヘリの窓を落下させたことを認める声明を発表した。



普天間第二小の地図



CH53E大型輸送ヘリの窓のない部分をシートで覆う作業員＝13日午前11時52分、宜野湾市・米軍普天間飛行場（田嶋正雄撮影）

宜野湾署が回収した窓。周りは金属のようなもので、透明な部分はアクリルとみられる。黄色いレバーが付いている所から時計回りに約90センチ、約85センチ、約65センチ、約93センチ。その他、バネやピンとみられるものも回収した（写真左端）

同ヘリは午前10時9分に窓を校庭に落下させ、ただちに普天間に戻ったとしている。米軍は声明で「地域社会に不安を与えたことにおわび申し上げます」と謝罪した。

小学校に米軍落下物：「子どもたちの命、おびやかされている」 翁長知事が現場視察

沖縄タイムス 2017年12月13日 13:08

13日午前、宜野湾市の普天間第二小学校のグラウンドに米軍普天間所属のCH53E大型輸送ヘリの窓が落下した事故で、現場視察を終えた翁長雄志知事は「数日前は保育園、今回は小学校という最もあってはならない場所で起きた。無条件で日本政府や米軍に対応してもらわないといけない」と話した。



(資料写真)翁長雄志・沖縄県知事

「日本や極東の安全保障を沖縄だけが危険をもって支え続けている状況の中で、子どもたちの生命がおびやかされ続けている。いつまでこんなことをしているんだという気持ちだ。米軍も日本政府も対応できていない。対処がなければ、またいつ起きるか分からないということがはっきりした」と語った。

宜野湾市の佐喜真淳市長は午前11時35分、同校に駆け付け、険しい表情で「絶対に許されない。言語道断だ」と憤った。

小学校に米軍落下物：米海兵隊太平洋基地司令官、沖縄県副知事に連絡 県「怒り心頭」

沖縄タイムス 2017年12月13日 12:23

ポール・ロック米海兵隊太平洋基地司令官は13日午前、沖縄県の富川盛武副知事に電話で落下事故の一報を伝えた。



(資料写真)沖縄県庁

謝花喜一郎知事公室長は県庁で記者団に「怒り心頭で言葉にならない。事故を非常に重く受け止めている」と米軍を非難。外務、防衛両省の関係者を午後県庁に呼んで抗議する考えを示した。

普天間第二小学校の体育館では午前11時半現在、全児童と教職員らを集めた緊急の集会が開かれている模様。11時10分ごろ、開催を呼び掛ける校内アナウンスがあった。

落下物のニュースを聞いて学校に駆け付けた在校生の母

親（42）によると、下校時間が早まるとの保護者宛でのメールが届いたという。

米軍ヘリ部品落下：グラウンドにガラス飛び散る 普天間第二小、飛行場とフェンスで隣接

沖縄タイムス 2017年12月13日 12:05

13日に沖縄県宜野湾市立普天間第二小学校に落下した窓枠のようなものは、四角状で縁が黄色。グラウンドにはガラスが飛び散っていた。普天間第二小学校は米軍普天間飛行場とフェンスを隔てて隣接している。



普天間第二小学校のグラウンドに横たわる米軍ヘリからの落下物＝13日午前10時54分、宜野湾市新成

部品落下の CH53E か 米軍普天間飛行場の駐機ヘリにシートかぶせる

沖縄タイムス 2017年12月13日 12:40

沖縄県宜野湾市立普天間第二小学校の校庭に米海兵隊のCH53E大型輸送ヘリのものとみられる窓状の部品が落下した事故で、同小に隣接する普天間飛行場では13日午前11時50分ごろ、駐機するヘリの窓にシートがかぶせられた。県警などによると落下したのは窓枠の可能性がある。



CH53E大型輸送ヘリの窓のない部分をシートで覆う作業員＝13日午前11時52分、宜野湾市・米軍普天間飛行場（田嶋正雄撮影）



（資料写真）普天間飛行場②



CH53E大型輸送ヘリの窓のない部分をシートで覆う作業員＝13日午前11時52分、宜野湾市・米軍普天間飛行場（田嶋正雄撮影）

シートがかぶされたのは前部左側の窓で、兵士がコックピット内から乗り出して作業していた。同飛行場では事故後の午前11時35分ごろ、別のCH53E大型輸送ヘリ2機が飛び立った。

米軍ヘリ部品落下：グラウンドにガラス飛び散る 普天間第二小、飛行場とフェンスで隣接

沖縄タイムス 2017年12月13日 12:05

13日に沖縄県宜野湾市立普天間第二小学校に落下した窓枠のようなものは、四角状で縁が黄色。グラウンドにはガラスが飛び散っていた。普天間第二小学校は米軍普天間飛行場とフェンスを隔てて隣接している。



普天間第二小学校のグラウンドに横たわる米軍ヘリからの落下物＝13日午前10時54分、宜野湾市新城

「米軍ヘリのドア落下と連絡」 菅官房長官が会見

沖縄タイムス 2017年12月13日 11:59

13日に沖縄県宜野湾市立普天間第二小学校の校庭に1メートル四方ほどの物体が落下した事故で、菅義偉官房長官は会見で「米側から午前10時ごろ、普天間第二小学校の運動場に米軍ヘリのドアと思われるものが落下したと連絡があった」と話した。



(資料写真) 菅官房長官

米軍ヘリの部品、小学校に落下 CH53 の窓枠か 宜野湾市の普天間第二小

沖縄タイムス 2017年12月13日 11:00

沖縄県宜野湾市立普天間第二小学校の校庭中央付近に13日午前10時15分ごろ、上空から1メートル四方ほどの窓状のものが落下した。米軍関係者は、米軍普天間飛行場に所属する海兵隊のヘリコプターの一部であると明らかにした。県警と県の関係者によると、落下したのは米軍海兵隊のCH53E大型輸送ヘリの窓枠の可能性がある。落ちた当時は、体育の授業中だったとみられる。4年生男児がかすり傷を負ったとの情報がある。



米軍普天間飛行場



普天間第二小学校のグラウンドに横たわる米軍機の窓枠のような物体＝13日午前10時54分、宜野湾市新城



事故を受けて、小学校内へ入る沖縄防衛局の伊藤晋哉企画部長ら＝13日午前11時前、普天間第二小学校



学校関係者に頭を下げる沖縄防衛局の伊藤晋哉企画部長ら＝13日午前11時ごろ、宜野湾市・普天間第二小学校
校庭は警察によって封鎖され、落下物は午前10時56分ごろ、警察が黒っぽい袋に入れて回収した。

同校に4年と1年の2人、幼稚園に1人の計3人の子どもが通う宜野湾市普天間の島袋仁志さん(42)は「何か落ちたようだ友達から連絡あり、正門まで駆け付けたが、中に入れないので心配だ」と話した。

午前11時ごろ、沖縄防衛局の職員が学校に入った。規制は午前11時9分に解除された。